

科名 血液内科
 対象疾患名 移植前処置
 プロトコール名 Flu/L-PAM

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	時間・コメント	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0
1	CV	側管	グラニセトロンバッグ*	1mg	30分かけて	↓	↓	↓	↓	↓		
2	CV	側管	フルダラ	25mg/m ²		↓	↓	↓	↓	↓		
			注射用水	2.5mL	30分かけて							
			生理食塩液	100mL								
3	CV	側管	アルケラン	90mg/m ²	30分かけて				↓	↓		
			生理食塩液	100mL	調整後90分以内に投与終了							
4			幹細胞移植									↓

1クール=7日間

～MEMO～

催吐リスク3(30%以上90%未満)

MD.Andersonの原法

フルダラをday-7から-3、アルケランをday-2、-1としてもよい。(虎ノ門)

アルケランは、腎障害時や治療歴が長い場合は、70mg/m²に減量する。(慶応大)

〈フルダラ〉

・1vあたり 2.5mLの注射用水で溶解。

〈アルケラン〉

・1vあたり専用溶解液 10mLを加え激しく振盪して完全に溶解する。

・調整後は90分以内に投与終了。

・調整後の溶液は、沈殿することがあるので冷蔵しないこと。